

# お富士山古墳(伊勢崎市)

正面が北東側から見たお富士山古墳/三段築成の前方後円墳/5世紀中頃の築造



後円部を北東側から見たところ/盾形の周堀が巡る/左手はJR両毛線



これは南東側から見たところで正面中央がくびれ部付近/右手が後円部、左手は前方部



前方部を東側から見たところ/左手はJR両毛線で墳丘が線路により少し削られてしまっている



これは前方部を南西側から見たところで、手前部分がJR両毛線で少し削られている/線路のこちら側まで前方部があったのだが



これは西側から見たところ/手前が前方部、後方が後円部/前方部が右手の方にかけて線路によって墳丘が削られている



北西側から見たところ/右手前が前方部、左手後方が後円部/周堀が巡る



さて、これは北側から後円部を見たところ





後円部の左手に回りこむ



鳥居が立っている



更に左手に回りこむと墳丘への登り口があった/鳥居と説明板が立ってる



# お富士山古墳

昭和四十一年四月十一日指定

お富士山古墳は市内最大の前方後円墳で、墳丘の全長が約一二五メートルあります。明治二十一年に前方部の一部が削り取られましたが、前方後円墳の形状を現在まで良くとめています。

墳丘は三段築造で、周囲を巡る堀跡は、昭和六十三年の発掘調査で盾形を呈することがわかりました。

築造年代は出土遺物などから五世紀中頃と推定されています。

後円部の墳頂には富士神社があり、その傍らには畿内地方の大王墓と同様の形態をもつ砂岩製の長持形石棺が埋置されています。

全長	一一五メートル	主軸	北七四度東
前方部幅	八三・一二メートル	前方部高さ	五・五メートル
後円部径	七七・一二メートル	後円部高さ	九・五メートル

平成十一年二月五日

伊勢崎市教育委員会

そこで左手の前方部方向を見たところ/向こうはJR両毛線



右手の後円部墳丘裾を見たところ



さて、墳頂に登ってみよう



墳丘斜面にはこんな小祠があった





これは墳頂に鎮座する富士神社社殿



これは社殿手前を南西側から北東方向へ見たところ



社殿右手を見ると小さな上屋があった



これは長持型石棺の覆屋であった



これが畿内の大王墓クラスと同じ形態を持つという5世紀代製作と考えられる長持型石棺/関東地方では太田市の天神山古墳とこのお富士山古墳でしか用いられていないことから、お富士山古墳の被葬者はヤマト王権との強い政治的つながりがうかがえる/砂岩製





方形突出(上部)や棒状の縄掛け突起が見てとれる



伊勢崎市指定史跡

# お富士山古墳

指定年月日 昭和41年4月21日

お富士山古墳は、市内で最も大きな前方後円墳です。墳丘の全長は125mあり、そのまわりには幅の広い周溝が掘られていました。周溝を含めた長さは192mで、県内でも大型の前方後円墳です。

お富士山古墳の特徴は、横から見ると3段に築かれています。それぞれの段の表面には川原石が並べられています。前方部は、南西を向き後円部にくらべ幅が広く、高さも低く造られています。段のまわりや後円部の頂上には大型の円筒埴輪が立てられていました。また滑石で作られた刀子の模造品なども出土しています。これら遺物の特徴から、お富士山古墳は5世紀中ごろに築かれたと考えられます。



群馬県指定重要文化財

# お富士山古墳所在長持形石棺

指定年月日 平成13年3月23日

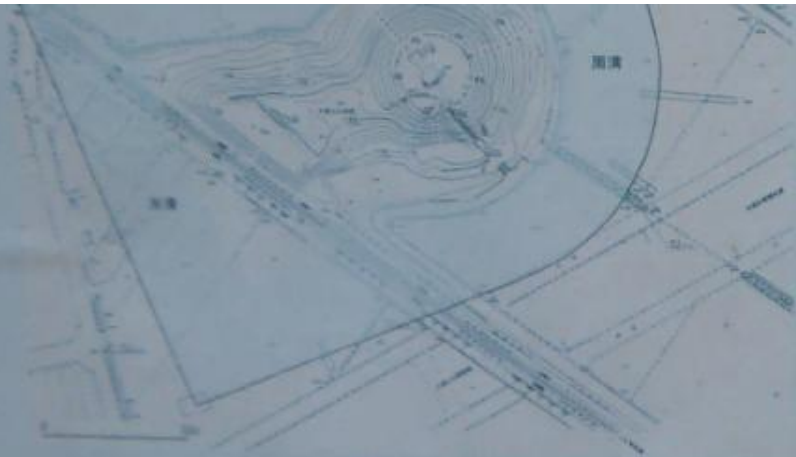
この長持形石棺は、お富士山古墳の後円部にあり、江戸時代に伊勢崎藩の関重疑が書いた『発墳暦』や『伊勢崎風土記』に記録されるなど、地元では古くから知られていました。

長持形石棺は、底石、側石と小口石で箱形をつくり、かまぼこ形の蓋石と合わせ6枚で構成され、その形は衣服を入れた長持に似ています。

お富士山の長持形石棺は、一部の蓋石が無くなっていますが、側石や小口、底石に組み合わせるための溝や段が彫られ、側石や底石の縁辺に棒状の縄かけ突起が造り出され、小口石の外表面には小さな方形の突出も見られます。その大きさは全長285cm、幅121cm、高さ115cm、重さは約6.8トンもあります。このような特徴から、この石棺の製作年代は5世紀代と考えられます。

長持形石棺は、全国で45例ほど知られていますが、





お富士山古墳復原想定図



お富士山古墳（北から）

その多くは畿内のヤマト王権を代表する大王の古墳などに用いられました。関東地方ではお富士山古墳と太田市天神山古墳のほか、千葉県で2例知られているだけです。

こうしたことから、お富士山古墳は、ヤマト王権と強い政治的なつながりをもったこの地域を治めた首長の前方後円墳であると考えられています。



お富士山古墳の長持形石棺



円筒墳輪

滑石で作られた刀子の模造品

問い合わせ先

〒372-0014  
 伊勢崎市教育委員会 文化財保護課  
 伊勢市西町1-1-1  
 TEL 0270-24-0966

これは社殿及び覆屋の背後を見たところ



さて、これは後円部からくびれ部及び前方部方向(南西方向)を見たところ



これはくびれ部から前方部を見たところ



前方部の先端から更に南西方向を見たところ/JR両毛線の線路が迫っている



振り返って前方部からくびれ部及び後円部方向(北東方向)を見たところ



これはくびれ部から後円部を見たところ



これはくびれ部で北西方向を見下ろしたところ





これはくびれ部墳丘裾で前方部方向を見たところ/JR両毛線が走っている



## 参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/isesaki\\_ohuzi/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/isesaki_ohuzi/)

[http://www.go-isesaki.com/kohun\\_ofuji.htm](http://www.go-isesaki.com/kohun_ofuji.htm)

<http://kofunmoodys.fc2web.com/isesaki.html>

<http://blog.goo.ne.jp/yymtvz/e/63f05a48378b1eacdc3a1792661c5b19>

[http://culturalassetofgunma.web.fc2.com/isesaki/isesaki\\_ofuziyamasekkan.htm](http://culturalassetofgunma.web.fc2.com/isesaki/isesaki_ofuziyamasekkan.htm)

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/18850fb1258e0571989f3afc39f65a2e>

<http://blog.livedoor.jp/hagimonn-free/archives/37112597.html>

<http://beccan.blog56.fc2.com/blog-entry-3451.html>

<http://www13.atpages.jp/ootama/page065.html>

<http://tigerdream-no.blog.jp/archives/8399051.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/yoshi-cp/gisesaki.htm>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%8A%E5%AF%8C%E5%A3%AB%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3>

